

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 118

千葉県立 市原高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のアからウのいずれかの要件を具備している生徒。

ア 基本的な生活習慣及び学習における基礎・基本が身についている生徒。

イ 学習活動・学校行事及び部活動等に意欲的に取り組む生徒。

ウ 思いやりがあり、積極性・向上心に優れ、将来社会に貢献できる生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間:約10分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ～エについて加点(上限165点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第1学年から第3学年までの欠席日数の合計によって加点する。
ウ 行動の記録	○の数によって加点する。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔200点満点〕

2名の評価者が、それぞれ、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(多少問題がある)・d(問題がある)の4段階で評価する。評価項目ごとの評価の組み合わせに基づき、200点満点で評価する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確であり、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	165点	200点	$(1000 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

平成31年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 118

千葉県立 市原高等学校 全日制の課程 園芸科

1 期待する生徒像

次のアからウのいずれかの要件を具備している生徒。

ア 基本的な生活習慣及び学習における基礎・基本が身についている生徒。

イ 学習活動・学校行事及び部活動等に意欲的に取り組む生徒。

ウ 農業や自然環境に興味・関心が高く、将来の進路に活かそうとする意欲のある生徒。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査時間:約10分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ～エについて加点(上限165点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	第1学年から第3学年までの欠席日数の合計によって加点する。
ウ 行動の記録	○の数によって加点する。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔200点満点〕

2名の評価者が、それぞれ、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(多少問題がある)・d(問題がある)の4段階で評価する。評価項目ごとの評価の組み合わせに基づき、200点満点で評価する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確であり、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	165点	200点	$(1000 + \alpha - m)$ 点

(算式1) α : 県が定める評定合計の標準値95

m : 中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいししない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

平成31年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 118

千葉県立 市原高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査の時間:約10分

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇の数を総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接

2名の評価者が、それぞれ、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(多少問題がある)・d(問題がある)の4段階で評価する。評価項目ごとの評価の組み合わせに基づき、評価する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確であり、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

平成31年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 118

千葉県立 市原高等学校 全日制の課程 園芸科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	評価者2名の個人面接 検査の時間:約10分

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇の数を総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接

2名の評価者が、それぞれ、次の3つの評価項目について、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(多少問題がある)・d(問題がある)の4段階で評価する。評価項目ごとの評価の組み合わせに基づき、評価する。評価dが1つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・意欲	志望の動機が明確であり、高校生活に意欲的に取り組もうとしている。
イ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

